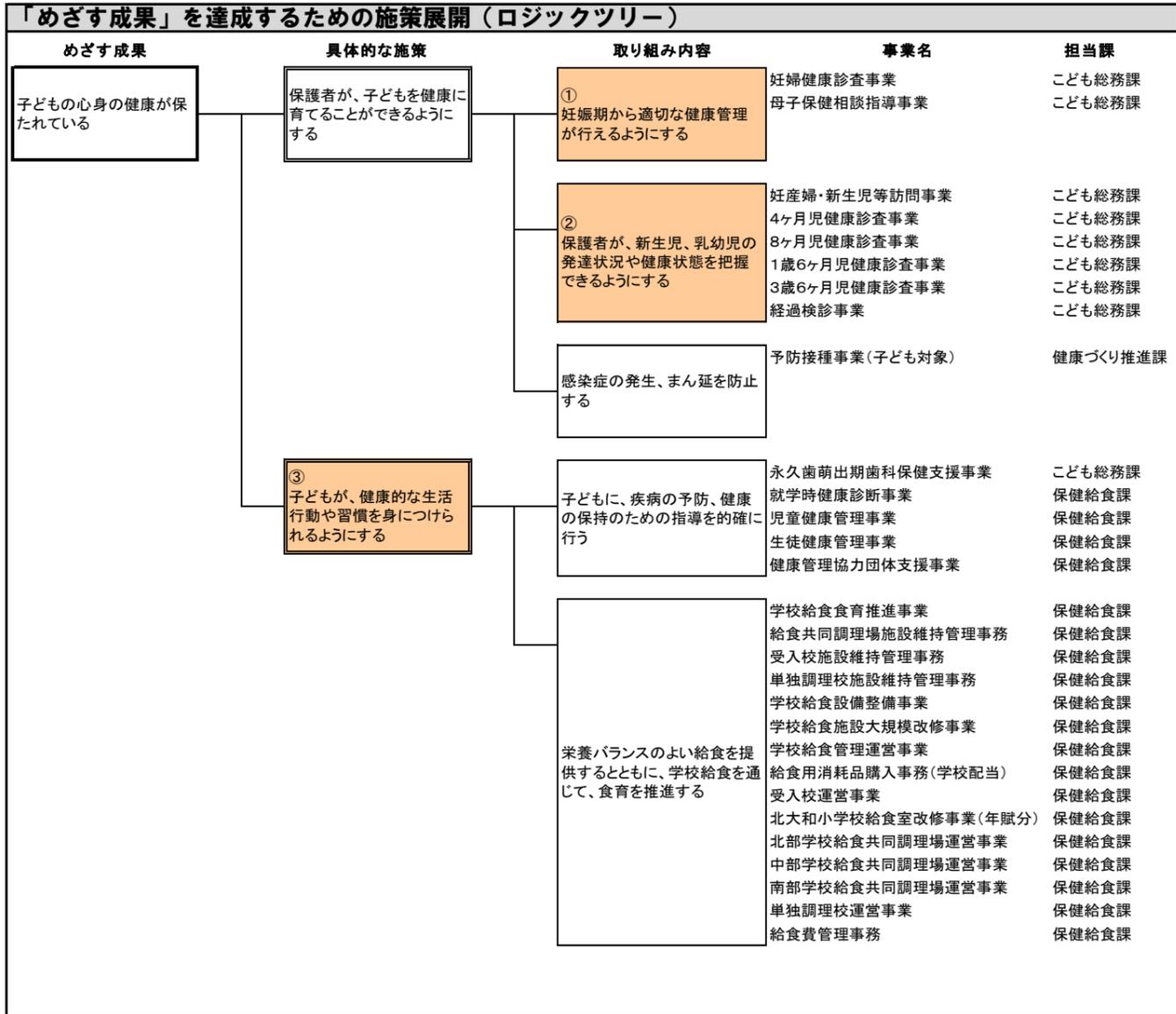


平成25年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート

2-1-1 子どもの心身の健康が保たれている

総合計画体系	健康領域・基本目標	人の健康・子どもが生き生きと育つまち
	個別目標	子どもの健康と安全を守る
	めざす成果	子どもの心身の健康が保たれている 疾病などの早期発見と予防が図られ、健康を損ねるおそれのあるときには、必要に応じて関係機関で適切な支援が受けられます。



総合計画掲載指標①		総合計画掲載指標②		総合計画掲載指標③	
妊婦健康診査の平均受診回数	4.5回	4ヶ月児健康診査の受診率	96.1%	肥満児童・生徒の割合	1.72%
計画策定時 現状値	4.5回	計画策定時 現状値	96.1%	計画策定時 現状値	1.72%
実績値 (H24)	10.4回	実績値 (H24)	96.2%	実績値 (H24)	1.33%
中間目標値 (H23)	14.0回	中間目標値 (H23)	97.5%	中間目標値 (H23)	1.56%
目標値 (H25)	14.0回	目標値 (H25)	98.0%	目標値 (H25)	1.53%

所管部	こども部、健康福祉部、教育部
-----	----------------

平成24年度までの取り組み内容	<p>【保護者が、子どもを健康に育てることができるようにする】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの健康状態を定期的に確認できるよう乳幼児健診の積極的な受診勧奨に努め、子どもの年齢に応じた育児支援に努めました。また、未受診家庭については文書と家庭訪問による健康状態の把握を行いました。 子ども対象の予防接種は、定期予防接種に加えて、子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種を実施し、56,670件の実績（平成24年度末まで）がありました。また、接種スケジュールの作成や、予防接種に関する様々な情報を提供するサービス「らくらく予防接種」を平成24年12月から開始しました。 <p>【子どもが、健康的な生活行動や習慣を身につけられるようにする】</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊婦や子どもの各年齢に応じた健康づくりや育児に関する講座の実施や幼稚園等を訪問し歯科保健講習会を開催しました。 新入学児童を対象に健康診断と面接を行うことで、健康状態の把握と疾病の早期発見に努めました。 食育の大切さを周知させる動機づけとして、栄養のバランスの良い給食の提供を行いました。また、週4回の米飯給食に合う和食の献立を充実し、日本の食文化や食習慣を学ぶ機会が増えました。
-----------------	---

構成事業に対する考え方（事業の量及び実施手法）	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠中から子育て期の各母子保健事業の内容の充実に努めると共に、関係機関と連携し早期対応早期支援に引き続き努めます。 予防接種の種類増加により、保護者が理解、管理する事項も増えていきます。保護者の負担感をできるだけ軽減するために、今後もきめ細やかな情報提供を進めていきます。 米飯に合う給食を提供することにより、食事についての正しい理解を深め、望ましい食習慣を養います。 安全で安心な給食を提供できるよう、給食施設の整備・管理などを適正に行うことで、食中毒や異物混入の防止に取り組む必要があります。
-------------------------	---

今後の展開方針		注）例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。
新規事業の立案		（該当する事務事業）
既存事業の拡充	<ul style="list-style-type: none"> 定期予防接種の種類増加に伴い、事業費の増額が見込まれます。 給食の安全性を確保するため、調理機器の点検体制の強化を図るとともに、調理機器の計画的な更新を進めます。 	（該当する事務事業） 予防接種事業 学校給食施設整備事業 単独調理校運営事業
事業の廃止・縮減	<ul style="list-style-type: none"> (財)大和市学校建設公社の解散に伴い、関連する事業を廃止します。 	（該当する事務事業） 北大和小学校給食室改修事業（年賦分）
事業の効率化	<ul style="list-style-type: none"> 単独調理校の調理員に一定の欠員が生じた場合には、単独調理校の委託化を進めていく予定です。 	（該当する事務事業） 単独調理校運営事業
その他見直し		（該当する事務事業）